平成 28 年度

学 力 向 上 を 図 る た め の 全 体 計 画

４４ 練馬区立立野小学校

▼東京都教育委員会の目標

・基礎的な学力の向上を図り、子供たちの個性と創造力を伸ばす教育を重視するとともに、国際社会に生きる日本人を育成する教育を推進する。

※基本方針２より

▼練馬区教育委員会の目標

・確かな学力の定着・向上及び健康の保持増進・体力向上を図るとともに、個に応じた指導や学び合いの学習を重視し、生涯にわたり主体的に学び続けられる子供を育てる教育を推進する。※基本方針２より

◇立野小学校の教育目標◇

○あたたかい心をもつ

○すすんで学ぶ

○つよい体をつくる

▼保護者の願い

・分かる授業、楽しい授業を行うことで学力を向上させてほしい。

・心豊かな子供を育ててほしい。

▼教職員の願い

・学ぶ楽しさや喜びを味わわせたい。

・心豊かでたくましい子供を育てたい。

▼地域の状況

・自然環境に恵まれ、保護者や地域住民は学校教育に対する関心が高く、学校行事に対してとても協力的である。

◇学校経営方針◇

(1)体力の向上や健康・安全教育の充実

・体育学習の質的向上を図る

・体育的活動の充実を図る

・健康・安全に関する教育を進める

(2)豊かな心の育成

・人とのあたたかい関わり方を身に付けさせる

・発達段階に応じた人権についての指導を推進する

(3)学ぶ力の育成

・学習規律・学び方の内容確認・指導実践を練り上げる

・週ごとの指導計画の改善・活用を行う

・授業改善、指導法改善、ICT 機器の活用を行う

◇ 各教科の指導の重点 ◇

〔国語〕自分の考えや意図などが伝わるような力を伸ばすために、話す力や書く力の指導を児童の実態に応じて行う。

〔社会〕地域社会から学ぶ体験的な学習の場を設定し、問題解決的な学習を進める。

〔算数〕考える楽しさを味わえるような指導法や学習グループ編成を工夫する。

〔理科〕基礎基本の確実な定着を図るとともに、自然を愛する心情を育成する。

〔生活〕具体的な活動や体験を通して、自他の関わりを深め、生活上必要な習慣や技能を育成する。

〔音楽〕豊かに表現する力を育てるために、感性・音楽活動の基礎的能力を育成する。

〔図画工作〕発想や構想する力・造形に対する感性を育てるために、授業の中に造形的な創造活動を積極的に取り入れる。

〔家庭〕日常生活に必要な基礎的な知識と技能の育成するとともに、個に応じた指導法を工夫する。

〔体育〕授業の中で運動量を確保する工夫をすることで、運動に親しむ資質や能力を伸ばすとともに、児童自ら考え、工夫して取り組む力を育てる。

◇立野小学校における確かな学力◇

学んだことを生活や学習に生かす力

⇧

学習指導要領が示す確かな学力

・自ら学ぶ力　・自ら考える力

・問題を解決する能力　・判断力

・表現力　・知識や技能　・学び方

⇧

各教科・領域で身に付けさせたい基礎・基本の定着

⇧

基本的な生活習慣・学習習慣の定着

◇道徳の指導の重点◇

・授業の充実を図ることで、児童の道徳性を養い、道徳的実践力を高める。

・全教育活動を通して、互いに人格・人権を尊重し合い、思いやりの心をもって道徳的な実践ができるような態度を育てる。

・身近な社会生活の中から、人権にかかわる問題を正しく理解させ、人権を尊重する態度を養う。

◇総合的な学習の時間の指導の重点◇

・自ら課題を見付け、学び方やものの考え方を身に付け、主体的、創造的に問題解決する態度を育てる。

・各教科で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、それらを総合的にはたらかせることができるような学習活動を工夫する。

・地域の人材を積極的に活用する。

◇外国語活動の重点◇

・外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験させるとともに、外国人ＡＬＴを活用し、外国特有の発音やリズムなどに慣れ親しませる。

◇ 進路指導の重点 ◇

・児童一人一人の能力や適正を正しく把握し、将来に希望や生き甲斐がもてるよう支援する。

・学校生活の中で、自己のよさや役割について意識化させる生き方の指導を積極的に取り入れる。

⇕

◇ 生活指導の重点 ◇

・挨拶を通して一人一人が笑顔で学校生活を送ることができるようにする。

・基本的な生活習慣の定着を図る。

・教育相談活動の充実を図り、配慮を要する児童に対し、迅速で組織的な対応をしていく。

本 校 の 授 業 改 善 に 向 け た 視 点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導法の工夫	校内における研究・研修の工夫	評価方法の工夫	家庭や地域との連携の工夫	小中一貫教育の視点
◇昨年度までの研究成果を生かし、各教科の学習の中で、自分の考えを交流することによって、さらに広げ深める力を継続的に育成する。 ◇習熟に応じた指導や補充的な学習・発展的な学習を取り入れ、個に応じた指導の一層の充実を図る。	◇年間指導計画・評価規準を見直し、授業における指導と評価の一体化を図る。 ◇２年～６年の、習熟度別算数指導を実施し、個に応じた指導をする。 ◇各教科でユニバーサルデザインの考え方を大切にした指導を行う。	◇研究主題「どの子も体を動かす楽しさを味わい、運動する意欲を高める立野の子」を体育科を通して実践する。 ◇研究授業〔６回〕や事前授業の充実を図る。 ◇主幹教諭・主任教諭主催の校内研修を実施し。教員相互の力量形成を図る。	◇１時間での評価基準を１項目に絞る。 ◇国語・算数科では観点毎に適切な評価をする。 ◇児童の学習意欲の向上を図るために、自己評価や相互評価を積極的に取り入れる。	◇学校公開日を年に３回設定し、保護者や地域住民に公開する。 ◇道徳授業地区公開講座を 11 月に実施する。 ◇地域、ＰＴＡと共催でもちつき大会を実施し、相互の交流を図る。	◇石神井西中学校での部活動見学、職場体験の受け入れなど児童と生徒との交流を計画的に行う。 ◇課題改善カリキュラムの作成・検討を行う。 ◇校区別協議会において小学校と中学校の情報交換等の充実を図る。